

(案)

令和5年(2023年)9月 日

山陽小野田市議会議長 高松 秀樹 様

総務文教常任委員長 笹木 慶之

### 山口東京理科大学に関する要望書

本委員会において、山口東京理科大学の契約事務の取扱いについて、所管事務調査を行いました。その中で、大学推進室職員及び山口東京理科大学職員を参考人として招致し、大学の契約事務等に係る現状等を確認しました。

その結果、山口東京理科大学が行う市内業者への発注数が市外業者への発注数と比べ大幅少ない状況にあること等が明らかになり、今後、大学側で取り組んでいただきたい事項があると判断したため、本市議会から山口東京理科大学へ要望書を提出することが望ましいと委員会で決定いたしました。つきましては、山口東京理科大学に対し、下記のとおり要望する取り計らいをお願いいたします。

#### 記

1. 関係法令を遵守し契約の競争性、公平性及び透明性を確保しつつ、公立大学の役割の一つである「地域貢献」を進めるため、市内業者の受注機会を確保し、企業の育成及び地域経済の活性化を図るため、山口東京理科大学が行う事務契約において、山陽小野田市内の業者を優先して発注・契約をする方針を定めること。
1. 山陽小野田市立山口東京理科大学（以下、山口東京理科大学）における契約の方法は大きく分けて、一般競争入札、指名競争入札、随意契約がある。本市経済の活性化及び市内業者の育成・振興を図る観点から、適正な競争原理のもと公平性を確保した上で、市内業者への優先発注を推進すべきであるが、発注の多くは市内業者以外になされている。今後速やかに市内業者優先発注等に係る実施方針を策定すること。

2. この度、山口東京理科大学の契約において複数者の見積もり合わせの場合、安易に市内業者以外を参加させている事が明らかになった。ついては、適正な競争原理を確保し、山陽小野田市内の業者を優先発注するためには、山陽小野田市内の業者を把握する必要があることから、山陽小野田市や商工会議所等と密接に連携し、山陽小野田市内の業者の把握に努めること。

2. 山口東京理科大学が行う随意契約においては、特命随契の場合及び適正な競争原理の確保のため複数者の見積もり合わせの場合、安易に市内業者以外を参加させるのではなく、山陽小野田市や商工会議所等と連携、情報交換を行い、取り扱い可能業者を調査の上、行うこと。

3. 山口東京理科大学が行う契約について、その発注・契約状況を集計し、山陽小野田市内の業者への発注が優先されているかどうか定期的に確認し、実施状況を把握すること。

4. 山口東京理科大学が行う契約において、市内業者以外に発注される場合、明確な理由を示すようにすること。(1に含まれていると考えれば必要ないか)

5. 山口東京理科大学の全ての教員及び事務職員に対し、山陽小野田市内の業者を優先して発注・契約する目的とその必要性について、研修等の機会を通して効率的・効果的に周知徹底すること。

公立大学の役割の一つである「地域貢献」には、地場産業の育成も含まれている。山陽小野田市内の企業と共同研究等の連携も密にしながら、できる限り大学内の事務契約は山陽小野田市内の業者を優先し、今後さらに公立大学の役目を果たして頂きたい。

また、本要望書は、市内業者の受注機会の確保及び市内業者の育成のために市内業者優先発注を推進するとともに、市内業者の自主的な努力を助長し、公正な競争が行われるよう配慮するものであって、市外業者を山口東京理科大学の契約から排除することを目的とするものではない。